

きずな



北九州市立折尾西小学校
校長 二宮 利之
児童数 529名

～国語科「書くこと」の 学習に力を入れて～

折尾西小学校は、国語科「書くこと」の授業に、特に力を入れています。「書くこと」の授業方法について、教師同士で研究を深め、北九州市の各校にその技術や手法を伝えていく重要な役割も担っています。

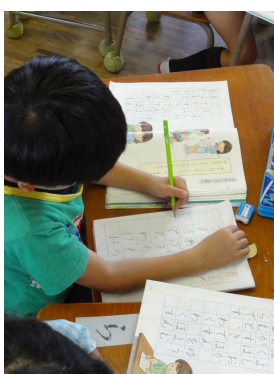
もちろん、一番大切にしていることは、その技術や手法で、折尾西小の子どもたちの学力を伸ばすことです。書くことに熱心に取り組むことで、「伝えたいことを文章でうまく伝える力」は、着実に身に付いています。

そして、『書くことは考えること』と言われるように、思考力・判断力・表現力等という学力の重要な部分も、「書くこと」の学習に、各学年に応じた内容を熱心に取り組むことでしっかり鍛えられています。

普段、大事に取り組んでいる「視写」「漢字の書き取り」等は、文字を正しく速く書く基礎・基本を鍛える活動です。「音読暗唱ブック『ひまわり』を使った暗唱活動」「読書」は、使える言葉の数を増やすことに役立つ活動です。これらの活動を大切にした上で、書くことの学習を充実させていくように、取り組んでいます。

6・7月は、「書くこと」の学習がどの学年にも組まれています。教師と子どもたちが真剣に「書くこと」に取り組んでいる姿の一部ではありますが、紹介したいと思います。

【『書くこと』の授業スナップ】



【一年 すきなことなめに】
自分の好きなことを書いて紹介し合う学習です。「すきなこと」と「その理由」をつないで書きます。先生の指示をよく聞いて、よく考えて、きれいな字で一生涯懸命に文を書いていました。

【二年 こんなもの見つけたよ】
友だちに知らせたいことを、思い出したり、周囲の人に詳しく聞いたりして、文章を書く学習です。小さなカードに書いたメモを、より詳しく人に分かる文へと修正する学習に集中して取り組んでいます。先生も一人一人に合わせた助言を手厚く行います。



【四年 新聞を作ろう】
インタビューを熱心に行い、その内容をもとに記事を作ります。そして、記事をうまく組み合わせ、一つの新聞に仕上げます。新聞を囲んで知恵を出し合う姿に中学年らしいやる気と成長を感じます。

【五年 委員会活動の活動報告文を書こう】
一学期の委員会活動を振り返り、よりよい活動をするために役立つ報告書を書く学習です。どこにどのような内容を書き分けるかという高度な思考や議論に意欲的に取り組む姿にすごさ・賢さを感じます。「書くこと」は、最後は一人一人の別作業です。教師は、個別の相談・指導を丹念に心がけています。

